

---

# はかるさん

源雪風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

はかるさん

### 【コード】

N4923K

### 【作者名】

源雪風

### 【あらすじ】

なんでも量ってから置くはかるさん。  
でも、量りにくいものが色々出てくる。

はかるさんは、買い物時に、重さを量って重い方を買う。  
はかるさんは、いつも電子天秤を持ち歩いている。

ある日、鯛が一匹1000円で売っていた。  
より重いものを選んだら、鯛の体の中に小さい魚が入っていた。  
卵も、重いものを買ったら黄身が二つで、得した。  
そんな小さな幸せに出会う度に、はかるさんは嬉しくなる。

しかし、ペットショップで一番重い犬を買ったら、食いしん坊で困った。

より重い野菜を買ったら、変な虫が飛び出してきた。  
先ほどの食いしん坊な犬が虫をぱくり。  
はかるさんはおろおろした。

家を買おうと思ったが、こればかりは測れない。  
さあどうするはかるさん。  
はかるさんは住める面積を測った。  
予算内で一番広く住める家にした。

この一件以来、はかるさんは  
「私は何でも量れる！」と、自信を持った。

ある時、電子天秤が壊れた。  
天秤屋さんに行った。  
今度は、一番軽い天秤を買ったため、天秤を天秤で量って、気に入ったものを買った。

またある日、はかるさんは二人の異性にほぼ同時に告白された。  
はかるさんは、人の心も何とかして量って、自分をより愛している  
方と結婚しようと思った。  
でもどうやって量ればいいのかだろう。  
面倒になったはかるさんは、二人のうち、体重の重い方と付き合っ  
ているそうなの。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4923k/>

---

はかるさん

2010年10月8日12時34分発行